川崎大師ロータリークラブ週報

例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館

例会日：毎週水曜日 PM12：30～

第３９期

会　長　増田　昌美

副会長　竹中　裕彦

村石　庄作

幹　事　武者　惠吾

ＳＡＡ　白石　浩司

事務局：〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F

Tel.044-277-7569　Fax.044-288-8550

URL http://kawasakidaishi-rc.com/　E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第１８８３回（本年度　第１８回）　例会　平成２３年　１１月９日　　曇り

●司会　　白石　浩司　ＳＡＡ

●点鐘　　増田　昌美 会長

●斉唱　　「君が代」「奉仕の理想」

♪ソングリーダー　水口　衛

ガバナー、ガバナー補佐紹介　　増田　昌美 会長

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー横浜鶴見北ＲＣ

上澤　摩壽雄　様

第１グループガバナー補佐　川崎幸ＲＣ

神戸　博　様

ゲストの紹介　　増田　昌美　会長

地区副幹事　横浜鶴見北ＲＣ　　石渡　宏衛　様

目録贈呈　　増田　昌美　会長

米山記念奨学金　特別寄付

ロータリー財団　特別寄付

長寿会員記念品贈呈　　増田　昌美　会長

久保　榮弘、船山　昭三、布川　二三夫、野沢　隆幸

寺尾　巌　　各　会員

来訪ロータリアンの紹介　　岩井　茂次　親睦委員長

川崎ＲＣ　　小口　和久　様

１１月入会祝・奥様誕生祝・会員誕生祝

岩井　茂次　親睦委員長

入会祝

・鈴木　幹久　会員　　１９８７年１１月０４日

・嶋崎　嘉夫　会員　　１９９５年１１月０１日

奥様誕生祝

・横山　俊夫　会員　　奥様　雅美　様

・村石　庄作　会員　　奥様　美代子　様

・矢野　清久　会員　　奥様　綾子　様

・尾崎　昭元　会員　　奥様　千鶴子　様

会員誕生祝

・　安藤　賢一　会員

・　細谷　重徳　会員

・　横山　俊夫　会員

・　清水　宏明　会員

会長報告　　増田　昌美　会長

１．１１月１２日（土）にローターアクトクラブ植樹式がありますので、参加できる方はよろしくお願いします。
日時：１１月１２日（土）　９時半登録開始１０時点鐘
集合場所：本牧地区センター

２．１１月１４日（月）に地区Ｒ情報・広報・ＩＴ委員会主催の「入会３年未満のロータリアンのためのＲ情報セミナー」があり、当クラブからは沼田会員に出席してもらいます。

３．１１月１５日（火）に地区クラブ奉仕委員長会議があり、当クラブからは村石副会長に出席してもらいます。

４．１１月２２日（火）に地区社会奉仕委員長会議があり、当クラブからは清水社会奉仕委員長に出席してもらいます。

５．病気療養中の布野会員にお持ちするロータリー旗の寄せ書きを回覧します、後日有志にてお渡しさせていただきます。

幹事報告　　武者　惠吾 幹事

１．本日は上澤ガバナーをお迎えしての例会です、皆さん宜しくお願いします。

２．先日は地区大会へ参加の皆様、お疲れ様でした。

３．川崎市立田島養護学校から作品展およびＰＴＡバザーの案内が届いております。
日時：１２月３日（土）
場所：本校舎（校舎内・体育館）

４．川崎市市民・こども局からアメリカンフットボール「Ｘリーグ・２０１１秋季リーグ２ｎｄステージ」の招待券を２枚頂きました。
案内は受付のところに掲示してあります。
チケットの希望がある方は事務局まで連絡をください、早いもの順とさせていただきます。

５．次週例会は３ＲＣ親睦移動例会です、お間違えのないようによろしくお願いします。
日時：１１月１５日（火）　午後６時　受付開始
午後６時半　点鐘
場所：川崎日航ホテル　１２Ｆ　「東中の間」
懇親会：宮下　敏子ディナーショー

また、次々週１１月２３日（水）は勤労感謝の日で休会となります、こちらもお間違えのない様にお願いします。

出席報告　　沼田　直輝　会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率	
1883 回	59	49	29	20	59.18	%
1881 回	59	50	35	15	70.00	%
前々回の修正・ﾒｰｸｱｯﾌﾟ			5	修正出席率	80.00	%

メイクアップ
野沢隆幸、林　鶴、竹田正和、石川　庸、沼田　直輝　各会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率	
1882 回	59	59	59	0	100.00	%
1880 回	59	49	35	14	71.43	%
前々回の修正・ﾒｰｸｱｯﾌﾟ			4	修正出席率	79.59	%

メイクアップ
中村眞治、竹田正和、鈴木節夫、沼田直輝　各会員

１０月度出席順位
３００％　武者惠吾　幹事
２７５％　須山文夫　会員
２５０％　増田昌美　会長
２２５％　牛山裕子　会員
２００％　竹中裕彦　会員
１７５％　水口　衛　会員
１５０％　鈴木幹久、宮山光男、飯塚元明　各会員
１２５％　船山昭三、野沢隆幸、竹田正和、横山俊夫、石渡利治、石川　庸、白石浩司、岩井茂次、伊藤佳子、石渡勝朗　各会員

ホームクラブ１００％

船山昭三、鈴木幹久、宮山光男、炭谷博功、竹中裕彦、増田昌美、横山俊夫、石渡勝朗、白石浩司、岩井茂次、鈴木昇二、伊藤佳子、武者惠吾、石渡利治、水口　衛、牛山裕子、飯塚元明　各会員

スマイルレポート(ニコニコボックス)

村石　庄作 副会長

２５９０地区ガバナー　上澤摩壽雄　様

ガバナー公式訪問に伺いました。

貴クラブの益々のご発展を祈念致します。

２５９０地区第一グループガバナー補佐神戸　博　様

川崎大師ロータリークラブ、増田会長をはじめ、会員の皆様、こんにちは。

本日は、国際ロータリー第２５９０地区、上澤ガバナー公式訪問の、ご案内役として参りました。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

２５９０地区新世代担当地区副幹事　石渡宏衛　様

いつも大変お世話になります。ガバナー公式訪問に同行してまいりました。宜しくお願いします。

日頃より川崎大師高等学校インターアクトクラブ並びに川崎大師ローターアクトクラブをご支援いただき誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

川崎大師ローターアクトクラブ会長　中村　祐規　様

先日の地区大会では増田会長はじめ皆様には大変お世話になりました。

特に武者幹事、ありがとうございました。そして上澤ガバナー、ローターアクトをよろしくお願いいたします。

野沢　隆幸　会員

上澤ガバナーを歓迎申し上げます。

渡辺冨士夫　会員

先日は上澤ガバナー、地区大会大変盛大でした。本日は宜しくお願いします。

水口　衛　会員

・上澤ガバナー、本日は宜しくお願いします。

・鈴木昇二さん、昨日はごちそう様でした。

矢野　清久　会員

川崎市スポーツ少年団剣道大会にて、小学校１，２年生の部、息子が３位と頑張りました。

宮山　光男　会員

上澤ガバナー、神戸ガバナー補佐をお迎えして。

増田　昌美　会員

上澤ガバナー、本日は宜しくお願いします。

本日のニコニコのテーマ

「上澤ガバナー　ようこそ川崎大師ＲＣへ　１年間お世話になります。」

♪中村眞治♪船山昭三♪竹中裕彦♪横山俊夫
♪岩井茂次♪村石庄作♪船木幸雄♪小林勇次
♪鈴木昇二♪武者惠吾♪布川二三夫♪秦　琢二
♪沼田直輝♪島岡榮基♪鈴木幹久♪飯塚元明
♪石渡利治♪伊藤佳子　計７１０００円

委員会報告

雑誌広報委員会　小林　勇次　委員長

・ 先日ソシア２１にて地区の会議があり出席してきました。「ロータリーの友」を是非読んでいただきたいとのことです。
・ 「ロータリーの友」１１月号の横組み５頁の財団の記事、２５頁のインターアクトの記事を読んでください。

親睦委員会　岩井　茂次　委員長

・ 本日１８時３０分より第三回の二水会を、小林会員のお店で開催します。まだ席の余裕がございますので、出席をお願いいたします。

卓話者紹介　神戸　博　ガバナー補佐

卓話

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー　上澤　摩壽雄様

皆様こんにちは　第 2590 地区 2011～12 年度ガバナーを務めます、横浜鶴見北ロータリークラブの上澤でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

本日は第１グループ川崎大師ロータリークラブに公式訪問にお伺い致しました。いつも会員の皆様にいろいろお世話になっております。

川崎大師さんには、地区へ職業奉仕委員に鈴木さん、拡大・増強委員に渡辺さん、インターアクト副委員長に武者さん、ＲＹＬＡ委員に須山さん、ローターアクト委員に飯塚さん、未来の夢計画委員に中村さん、米山学友委員会に鈴木さんと、大勢の皆様に地区運営の各々の役職をお願い致しております。今年度一年間、どうぞご協力をお願い致します。

本日この例会が開催される前に、今年度のクラブの現況と活動計画を詳細に伺いました。誠に立派なクラブ運営をなさっておられます。感心したところでございます。

今年の１月、アメリカ・カリフォルニア・サンディエゴで開催されました国際協議会に出席して参りました。全世界２００を越える国・地域

のロータリアンと配偶者 1,300 名余の皆様が、地球上のあらゆる所から出席されておられました。この協議会は、ガバナー年度に向けてロータリーの総合的な知識を学び「超我の奉仕」の理想と実践に挑んでいくのが目的でありました。今年度のガバナーとしての役職への深い思いと責任を感じながら勉強して参りました。この 2011～12 年度当地区のクラブ会員の皆様と共通の夢を胸に、この夢を実現させるため、勇気と実行力、精神力、そして変化を積極的に受け入れ、より良い年度を目指したいと思っております。地区ガバナーと致しまして、私の役割の一つは、地区内クラブの意欲を喚起し、クラブとのより良い関係を目指すこと及びロータリーの綱領を推進し会員との調和を計ることです。ガバナーはＲＩ理事会の一般的な監督下に職務を行うことになっております。組織としての成功を維持し、更に発展を目指す上で国際ロータリーのクラブレベルにおける成果を維持するために、ガバナーとしまして大きな責務を果たさなければなりません。今年度を成果あふれる充実したものにするために目標を立て、ロータリーの精神でありますロータリー綱領を実践し、会員の皆様を鼓舞することと心得ております。地区の目標・方針を具体的に実践することです。また、ＲＩと地区・クラブの連携を構築する上で長期計画を反映した目標を設定する必要があります。
それでは先ず、カルヤン・バネルジーＲＩ会長の経歴をご紹介します。
カルヤン・バネルジー氏は、インド・グジャラート出身で 1942 年インドのカルカッタ生まれの６９才です。インド国内最大の農薬メーカーである United Phosphorus Limited 社の理事ならびに同社のバングラディッシュ支社長・会長を務めております。現在はインド最大の工業都市であるグジャラート州バピに居住し、保険と教育の分野におけるインフラ整備に関与し、発展に大きく貢献しています。
ロータリー歴は

１９８０～８１年度	地区ガバナー
１９９５～９７年度	ＲＩ理事
２００１～０５年度	ロータリー財団管理委員
２００８～０９年度	ロータリアン行動グループ委員会委員長
２０１１～１２年度	国際ロータリー会長

です

第１日目の本会議にてＲＩ会長カルヤン・バネルジー氏の 2011～12 年度テーマと協調事項が発表となりました。すなわち「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」【Reach Within to Embrace Humanity】です。また同時に３つの強調事項「家族」「継続」「変化」も示されました
テーマの中で次のように述べておられます。
深く自己を省みることにより、人類が皆同じ夢、希望、願望、問題を分かち合うことを理解するために、まず自分自身を見つめ直すことから始めて下さい。全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。
と述べておられます。
次に、今年度の三つの強調事項ですが、　第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。
第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。同時に改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。
第三の強調事項を「変化」としたのはこのためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。
ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。
「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか
以上が三つの強調事項ですが、今年度のＲＩ会長カルヤン・バネルジー氏は、テーマとして「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」を掲げております。先ず自分自身の心の中を見つめ直そうをテーマにしております。ロータリーの精神的な部分から、自分自身の内部に潜在している物、即ち人の行動や考え方に大きな影響を及ぼしている、心の動きに対し自問自答しながら行動に移して下さい。というように私は感じています。
ＲＩのテーマはここ数年どちらかと申しますと物理的行動や外部に向けての奉仕活動が主体であったように思いますが、今年度のテーマは、ロータリーの原点に返り、自分自身を高め、切磋琢磨し、その精神をもって奉仕活動をしましょう、自分の心にわいてくる人間づくりをしようということです。このようなＲＩ会長の精神と、私の今年度の方針目標が奇しくも同調していますので、その意をくみ取って頂きたい、また今年度のクラブ運営に反映させて頂きたいと思います。
ロータリークラブは、知人の集まりではなく、友人の集まりです。友情を大切にすることは、それがロータリーの原点であり全てではないでしょうか。そして、ロータリーの目的、即ち綱領であり、四つのテストだと思います。これがロータリーの原点であります。しかし、最近は倫理的なことより、ロータリーの主体は外部活動だとの方向が主力だとの節が見うけられます、特に 1990 年代以降に強くなったと言われております。他の人を思う気持ち、そこからもちろん外部活動も必要です。いずれも立派な活動でありますが、ロータリーの新世紀を迎え、地域社会になじむ活動も大切だと思います。各クラブが基本に立ち返り、クラブがどういう活動をすべきか原点に返って考える、それが必要な時期にきているのではないでしょうか。

今年度の目標、方針について
1.『ロータリー綱領』の再確認をして下さい。
2. クラブ主導・地区支援が基調です。
3. ロータリーは五大奉仕が基本です。
4. 魅力あるクラブ作りと創意工夫（人格を磨こう）
5. 新世代奉仕で未来のリーダーの夢を育みましょう。
6. 地域に密着したロータリー活動をしましょう。
7. 会員増強が源、クラブの力になり、組織の力になります。
8. ロータリー財団の寄付目標
9. 米山記念奨学会事業へのご理解と寄付
10. 東日本大震災復興支援

長期計画は、強力なクラブ、効果的な奉仕、認知されるブランドという３つの基本要素の推進に焦点を当てております。2010 年７月１日から有効になった新計画では、優先項目が７項目から３つの大きな重点項目になっていますが、各項目には具体的に測定可能な活動目標が挙げられており、これらの活動目標には前の長期計画の殆どの要素が含まれております。また活動項目は、必要に応じて修正が可能です。

国際ロータリーの使命は、ロータリアンが他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職種及び地域社会のリーダー間との親睦を通じ、世界理解、親善、平和を推進することです。これは従来の使命と本質的には変わりません。中核となる価値観にならって、高い倫理的基準が「高潔性」に変わりました。私たちは全世界社会に於ける人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織です。　国際ロータリーのビジョンは、「大きくてより良い大胆な夢を持とう！」という理念から再検討され、「ロータリーを魅力あるものにしよう！」に変わりました。　これは「活力的で適切な奉仕をするクラブの活動が、地域社会や国際社会において認められるようにしよう！」という願いからです。
Ⅰ. 地区とクラブのサポートと強化についての項目
1. クラブの刷新性と柔軟性を育てる。
2. 五大奉仕部門の全部間における調和のとれた活動を行う。
3. 多様性の増進をする。
4. 会員の勧誘と維持を改善する。
5. リーダーを育成する。
6. ロータリーを進展させる。
7. クラブと地区に於ける長期計画の立案を奨励する。
Ⅱ. 人道的奉仕の重点化と増加
1. ポリオを撲滅する。
2. 以下の分野における奉仕の持続性を高める
・青少年と青年のプログラム
・ロータリー財団の６つの重点分野
3. 他組織との協力関係を拡大する。
4. 地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。
Ⅲ. 公共イメージと認知度の向上
1. イメージとブランド認知を調和させる。
2. 行動を主体とした奉仕をＰＲする。
3. 中核となる価値観を推進する。

4. 職業奉仕の理想を強調する。
5. クラブに於けるネットワーク作りの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知するようクラブに奨励する。
以上は、2010～13 年度までの新しく改正されました長期計画のクラブと地区の関係の深い部分を抜粋したものです。特に新しい活動の焦点は「将来へ向けてもっと大きな夢をもとう」という事であり、そのためには地区やクラブの活性化と柔軟性が、特に強調されております。新長期計画は、重点項目を３つの大きなグループに分けられていますが、それぞれの重点項目の中に、多くの実践目標が示されております。クラブの活性化を推進するために、地区と全てのレベルで活動を柔軟に進展させて、ロータリーの発展を期待したいと思います。（長期計画セミナーに出席しての資料より）

国際ロータリーの会員増強については、ロータリーと、それを取り巻く世界は変わり続けております。クラブでの会員数の減少、特に会員維持率の低下は各地区、クラブレベルと世界レベルの双方で取り組まなければなりません。私達は、優秀で積極的に参加してくれそうな新会員をクラブに入会させる、それが会員増強だと思っていますが、その人たちにやる気を起こさせやりがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間に退会してしまうでしょう。　数字の方は皆さんご存じだと思いますが、大局的に見てここ１０数年会員数の減少はいっこうに止まるように見えません。会員が増加している国、地域は、新クラブが結成されたことが主な要因となっております。会員の自然減についてはよく口にされますが、ロータリーへのその影響については真剣に考えられていないのが実情です。２００３年６月末の時点で全世界で３1,５５１のクラブにおよそ１２０万人の会員がいました。そして、2010 年６月末の時点では３4,１０３のクラブがありましたが、会員数は同じくおよそ１２０万人でした。２００３年以来クラブの数が２５５２増えたにもかかわらず、会員の総数はわずか２２６人しか増えていません。これは実に驚くべき事実です。そしてもっと憂慮すべきことは、この７年間に世界のロータリークラブは１１０万人の新会員を迎えていたのだということです。どんどん入ってくる会員が次々に退会してしまう。どうもクラブの多くが、いわば錆びて穴だらけの古バケツ化してしまったようです。このいわゆる「自然減」の結果ロータリアンであることの価値は低下し、ロータリーの公共イメージが損なわれ、各クラブの影響力も低下しているのではないでしょうか。

最近いろいろ問題とされるなかで、国際ロータリーの会員やクラブへの強制的な部分が問題視されております。
ロータリーは、基本的には個人が主体であります。また奉仕活動も個人が主体であります。従いまして、国際ロータリーは決して基本原則を無視してはおりません。例えば、国際ロータリーの『手続要覧』では、かなりの規定の中で「要請」いたします、「推奨」されている、「望ましい」というように、かなり柔らかい表現がされています。
また、ロータリー章典に記載されている一般的な規定、用語、語句、表現は全て方針の施行を可能にするような方法で解釈されるものとし、法律や組織規定における特定の、あるいは適切な意味を持つ専門的な用語や語句に関しては、それぞれの専門的な意味に基づいて解釈するものとするとあります。本章典において「shall」「is」「are」という単語は「義務」であることを意味し、「may」「should」という単語は「任意」を意味するものであるという注があるように解釈してはいかがでしょうか。
また、このロータリー章典は「手続要覧」（P183）の更なる解説のようなもので、参考にして頂ければ幸いです。

ロータリーも 107 年が経過しました。草創期のロータリーと現在のロータリーを比較しますと、一口には言えないさまざまな変化と発展と苦難の 107 年といえるのではないでしょうか。
私たちは、ロータリーの現在および未来を考える時、ロータリーの組織ＲＩ（国際ロータリー）は、世界中のクラブの連合体であることを承知しながら、クラブの自主性とは何かを考えさせられます。一口にクラブといいましても、日本でも大変古く歴史のあるクラブもあり、また出来たばかりの新しいクラブもあります。各々のクラブが独自性を持って、一つのルールの中でクラブ運営をしていかなければならないのが現状です。また、各々のクラブの評価となりますとどうでしょうか。クラブというのは、クラブの会員一人ひとりの有形無形の尊い先人の積み上げた財産であります。
一般的には財産といえば、比較的金銭等に評価しがちですが、これは数値で出せますので分かりやすいのも事実であります。しかしロータリーの場合は、一寸違うように思います。一般的な法人では、有形なもので会計処理上の財産もありますが、ロータリーはそれよりもっと大きな、各クラブに長年積み上げられた財産があります。クラブの伝統、風格、会員同士の素晴らしい友情、クラブ独特なクラブライフという、計りきれない積み上げた歴史と財産があります。クラブ全体の共有財産は会員全体で守り育てていかなければなりません。これは先輩が大切にしてきたロータリーの心であり、愛情でもあります。創立１０年であればそれなりに、また、５０年、６０年になれば、それはそれなりに、クラブの伝統は長い、短いでは決められないものがあります。しかし、会員数の多いクラブ、また少ないクラブがあるのも現実です。また以前には、今の２倍、３倍の会員がいたクラブもあります。原因はいろいろあると思いますが、クラブ年数の長短、会員数の大小ではなく、会員の資質が評価されるものもあります。あの人がいるからロータリーに入りたい、あの人はロータリアンですかと言われるようなロータリアンになるよう努めたいものです。

一方、ロータリーのクラブ活動や奉仕活動を行うに当たり、各クラブが絶対的な自主権をもっていることは言うまでもありません。国際ロータリーは如何なるクラブに対しても、特定の奉仕活動を命令したり、禁止したりすることは、原則として出来ません。Ｒに地区、クラブという組織はありますが、決して上下関係でもありません。各クラブの活動を決めるのは、あくまでもクラブの自主判断となります。このことは、ロータリー107 年の歴史の中でも大変重要な部分の一つであります。決議 23-34（手続要覧 p114～115）に明記されております。単に社会奉仕活動に関する論点だけではなく、ロータリーの基本的なあり方に関する考え方が多いようであります。
また、「寛容」の精神についてですが、各ロータリアンは、ロータリーの価値観や歓びは、人それぞれであります。五大奉仕の活動に汗を流すことに歓びを感じる人、クラブの親睦活動のなかで自己啓発に価値観を見出す人等様々です。ポール・ハリスも、「人の考え方はその人それぞれであり、人によって考え方の違いは当たり前だ。従って、独断的なロータリーの主張は無益だ。」という考えを随所に残しております。このように、人々の価値観の相違はあるが、ロータリーにとっては一つにまとまること、それは寛容の精神、相手の善意を認める心が大切だということです。寛容の精神こそ、ロータリーが目指す友愛と親睦の堅い基盤をなす物と考えます。ロータリーに入会した時、先輩に自己研鑽と切磋琢磨、そして哲学倫理があると教えられました。
我々ロータリアンは、将来のロータリーはどうあるべきかと考えたとき私は、内部的問題と外部的な問題を真剣に考えていこうと思っております。ロータリー活動をするとき、奉仕活動として外部へ向けてする活動が一つです。そして、さらに内部的問題としてロータリアン自身、自分の心の中を見つめ、人間としての道徳とか倫理という人間形成を計り、常に自分を高めるという高度な人格作りをすることです。バネルジーＲＩ会長がテーマとして、自分の心の中を見つめよう、そして行動しようと申しております。皆様どうかこのテーマを真剣に考えていただき、これからの活動に反映させて頂きたいと思います。
ロータリーも二番目の世紀に入りました。私たちは自分たちの持っているエネルギー、そしてまた信念、これを活性化させる必要があります。どんな困難に直面しようとも、それに打ち勝つように歩いていきましょう。今日もここで全員がロータリーバッチを付けておりますが、是非これを身につけることを誇りにしましょう。そしてこのバッチを見るたびに、何か人間にとって、人類にとって良いことをするという責任があるのだというふうに思いましょう。この歯車数 24 個です。24 時間つけたまま活動しましょう。
今年度、クラブ・会員の皆様の尚一層のご協力をお願い申し上げます。

次回例会
１１月３０日（水）
卓話　牛山　裕子　会員
横山　俊夫　会員
「財団について」対話形式
：クラブ会報委員会：
岩崎寛／川又竜志郎／久保博和／沼田直輝

当月例会数	4

10月度出席報告

氏　名	例会数	ホクーラムブ	メアーックブ	出席率	ホームクラブ100%	氏　名	例会数	ホクーラムブ	メアーックブ	出席率	ホームクラブ100%
寺尾　厳	4	1	1	免2回		矢野　清久	4	2	0	50	
布川　二三夫	4	2	0	免2回		仲川　文則	4	1	0	25	
久保　栄弘	4	0	0	免4回		岩井　茂次	4	4	1	125	○
長島　亨	4	2	0	50		岩崎　寛	4	3	1	100	
船山　昭三	4	4	1	125	○	鈴木　昇二	4	4	0	100	○
島岡　栄基	4	2	0	免2回		伊藤　佳子	4	4	1	125	○
遠藤　悦弘	4	1	0	免3回		武者　惠吾	4	4	8	300	○
鈴木　幹久	4	4	2	150	○	石渡　勝朗	4	4	1	125	○
宮山　光男	4	4	2	150	○	水口　衛	4	4	3	175	○
野沢　隆幸	4	2	3	125		須山　文夫	4	3	8	275	
林　鶴	4	2	2	100		川又　竜志郎	4	0	0	免4回	
安藤　賢一	4	2	0	50		秦　琢二	4	1	1	50	
小泉　敏和	4	0	0	0		小林　勇次	4	2	1	75	
荒金　眞弘	4	0	0	免4回		牛山　裕子	4	4	5	225	○
嶋崎　嘉夫	4	1	0	25		尾崎　昭元	4	0	0	免4回	
炭谷　博功	4	4	0	100	○	坂東　保則	4	2	1	75	
中村　眞治	4	3	1	100		須釜　賢治	4	1	1	50	
後迫　太	4	0	0	0		岩田　一弘	4	2	0	50	
細谷　重徳	4	1	0	25		浜本　数美	2	0	0	免2回	
竹中　裕彦	4	4	4	200	○	船木　幸雄	4	3	1	100	
須藤　宏	4	1	0	25		飯塚　元明	4	4	2	150	○
久保　博和	4	1	0	25		御手洗征郎	4	1	0	25	
増田　昌美	4	4	6	250	○	鈴木　節夫	4	3	1	100	
倉成　保巳	4	0	0	免4回		谷澤　幹男	4	2	1	75	
大藪　善一	4	1	2	免1回		沼田　直輝	4	2	2	100	
竹田　正和	4	1	4	125							
横山　俊夫	4	4	1	125	○						
石渡　利治	4	4	1	125	○						
村石　庄作	4	3	1	100							
石川　庸	4	3	2	125							
渡辺　冨士夫	4	3	1	100							
布野　真治	4	0	0	免4回							
清水　宏明	4	2	0	50							
白石　浩司	4	4	1	125	○						
岡　真治	4	0	2	免2回							

10月出席報告　76. 98%